

緊急作業従事者の被ばく線量について

7月までに緊急作業に従事し始めた作業者について、外部被ばく線量（注1）と内部被ばく線量（注2）の合計は次のとおり。

区分（mSv）	3月			4月			5月		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
250超え	6	0	6	0	0	0	0	0	0
200超え～250以下	0	2	2	0	0	0	0	0	0
150超え～200以下	12	2	14	0	0	0	0	0	0
100超え～150以下	62	15	77	0	0	0	0	0	0
50超え～100以下	194	112	306	0	3	3	0	0	0
20超え～50以下	527	332	859	9	72	81	2	20	22
10超え～20以下	536	502	1,038	20	285	305	9	136	145
10以下	316	1,139	1,455	591	2,587	3,178	271	2,573	2,844
計	1,653	2,104	3,757	620	2,947	3,567	282	2,729	3,011
最大（mSv）	670.36	238.42	670.36	45.55	69.28	69.28	24.77	41.61	41.61
平均（mSv）	31.30	15.40	22.40	2.40	4.10	3.80	2.45	2.92	2.88

区分（mSv）	6月			7月		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
250超え	0	0	0	0	0	0
200超え～250以下	0	0	0	0	0	0
150超え～200以下	0	0	0	0	0	0
100超え～150以下	0	0	0	0	0	0
50超え～100以下	0	0	0	0	0	0
20超え～50以下	0	17	17	0	6	6
10超え～20以下	1	94	95	0	69	69
10以下	183	1,764	1,947	219	1,697	1,916
計	184	1,875	2,059	219	1,772	1,991
最大（mSv）	11.94	38.66	38.66	3.91	31.24	31.24
平均（mSv）	1.05	2.40	2.28	0.47	2.09	1.92

注1 4～7月分は、免震重要棟滞在時の線量及び移動中の線量を加算していない。
（ただし、ガラスバッジのデータ等が含まれている場合もある）

注2 放射性物質の摂取時期に係る調査、日本原子力研究開発機構（JAEA）での詳細評価等によって、数値が見直される場合がある。

（9月15日、東電からの報告）